

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 新型コロナウイルス感染症入院患者における早期レムデシビル治療の有効性の検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の目的] 新型コロナウイルス感染症を罹患された方へ発症早期にレムデシビルを使用する事でどの程度重症化の予防や予後の改善を得ることが出来たかを評価いたします。

■研究の対象となる方

2021年12月から2022年4月に公立陶生病院に新型コロナウイルス感染症の診断で入院されたの方を対象とし、早期にレムデシビルを使用された方と、そうではない方を比較検討いたします。

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■研究の背景・目的

2019年にはじまった新型コロナウイルス感染症は多くの感染者をだし、当初は感染力も重症化率も高く、治療法もない疾患であり多くの医療現場が疲弊に陥りました。しかし現在では内服薬や抗体療法など新しい治療も出てきており、その様相は大きく変わってきております。2020年から使用されていたレムデシビルという抗ウイルスは海外の報告で発症早期に使用する事で重症化を87%予防できるといわれておりますが、本邦ではまだ報告は少ないため、国内の治療の選択肢を増やすために当院での早期治療された方を中心にその有効性を検討いたします。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和